

令和5年度 第71回北海道・東北ブロック保育研究大会 開催要綱

～すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして～

1 趣 旨

3年余りにわたる新型コロナウイルス感染症との闘いは5月8日からの感染症法5類への移行によりいよいよ新しいステージが始まります。いわゆるコロナ禍で、保育や行事のあり方、保護者や地域との関わり等が大きく変化しましたが、これまでに学んだ現場の叡智を結集し、次なる「‘新しい日常’としての保育」を創っていくことが求められています。

この4月からは、こども基本法の施行、こども家庭庁の発足、異次元の少子化対策の推進等々、この国の子ども・子育て政策は大きな転換期を迎えています。その一方で、加速する出生数の減少による深刻な人口減少社会の到来が差し迫る中、乳幼児の命と健康を守り育てことはもちろんのこと、保護者等の就労や社会参加等を支えるという‘公的保育の営み’を、誰がいかにより維持していくのかが、国や地方を問わず共通した重要課題となっています。

また、昨年秋以降、全国各地の保育施設で保育職員による乳幼児への虐待や不適切な問題行為が相次いで発覚していることで、社会から不信や警戒といった厳しい視線が私たち保育に向けられています。ごく限られた保育施設・保育者によることとはいえ、これを機会に自らを振り返りながら、あらためて‘適切な保育とは何か’を考え直す必要があります。

このような状況下、コロナ禍で開催できなかった“参集型”による保育研究大会を3年ぶりに開催し、保育の社会的な意義や役割、今日的な課題等についての認識を共有しながら、保育に関する多様なテーマによる研究・協議を深めることで、より豊かな保育・子育て支援の拡充を目指すことを目的として本大会を開催するものです。

2 主 催

北海道・東北ブロック保育協議会、一般社団法人青森県保育連合会

3 後 援（予定）

こども家庭庁、青森県、青森市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
社会福祉法人青森県社会福祉協議会、全国保育協議会、全国保育士会

4 期 日

令和5年7月13日（木）～14日（金）

5 会 場

- ・ホテル青森（青森市堤町1丁目1-23 TEL 017-775-4141）
- ・リンクステーションホール青森（青森市文化会館）
（青森市堤町1丁目4-1 TEL 017-773-7300）

6 参加対象

北海道・東北ブロック各道県、指定都市保育関係者 約500名
（保育所（園）職員、保育所を運営する法人等の役職員、行政及び社会福祉協議会職員等）

カテゴリー2 「子育て家庭を支える」

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、保育・子育て支援機能を充実し、多様化する働き方のなかで新たな子育て家庭のニーズに応え、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

【第4分科会】 テーマ④ 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

カテゴリー3 「多様な連携と協働をつくる」

子育て不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的に取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や地域住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。また、必要に応じて、社会福祉法人の法人間連携、公私や民間施設相互における事業連携をすすめます。そして、企業や非営利活動法人等との多様な連携を研究します。

【第5分科会】 テーマ⑤ 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた
関係機関とのネットワーク

カテゴリー4 「子育て文化を育む」

子どもを対象とした犯罪や虐待を未然に防ぐために、次世代を創造する子どもをかけたがない存在として愛しみ、尊いものとして価値を認め、子どもや子育てに多くの人が関心を持つ子育て文化をつくります。保育所・認定こども園等が社会全体で育む子育て文化を地域社会に発信します。また、地域共生社会を実現するため、保育所・認定こども園等の機能を社会に開き、地域社会に根ざした運営をめざします。

【第6分科会】 テーマ⑥ 家庭や地域との連携による食育の推進

【第7分科会】 テーマ⑦ 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

カテゴリー5 「子育て・子育てを支援する仕組みをつくる」

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでもとても低い水準です。こうした政策のあり方を改善するとともに、未来の日本の社会を担う子どもを中心において、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

【第8分科会】 テーマ⑧ 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

9 研究発表の原稿提出等について

- (1) 分科会での発表時間は質疑応答と助言者からの助言等を含めて1人40分程度（発表30分、質疑応答・助言等10分）です。
- (2) レジュメ等の研究発表原稿の作成にあたっては、発表項目ごとに柱立てを行い、原稿はパソコンで作成するものとし、様式サイズはA4、文字サイズは10.5ポイントとし、8ページ以内でまとめてください。（その他資料は、提出されても資料に編纂することはできません。別資料を用意しなければならない場合、発表者本人で必要部数をご用意いただきます。）
- (3) 発表者は、別に定める期日まで各道県組織あてに研究発表資料を提出してください。

各道県組織は、発表資料を取りまとめ、**6月9日（金）**までに青森県保育連合会あてに送付してください。

- (4) ノートパソコンは、各自での持込となります。プロジェクターとの接続ケーブルにつきまして、機種によりパソコンと接続できない等の不都合が生じる場合もありますので、各自でご準備ください。
- (5) スクリーン、プロジェクターは、事務局で用意します。なお、音声を含む映像を使用される場合は、事前に青森県保育連合会あてにご連絡いただきますようお願いいたします。
- (6) 発表原稿データは、印刷されたもの（プリントイメージの確認のため）と、データを PDF で作成し、CD-R または USB メモリまたは E メール（kenporen@jomon.ne.jp）でお送りください。
- (7) 分科会参加人数につきましては、6月下旬頃に各道県組織に連絡いたします。

1 0 参加経費

- (1) 参加費（資料代） 1人 12,000円
 - (2) 昼食代（お茶付） 1,500円
 - (3) 交流会費 8,000円
- ※ 宿泊費については別添「参加・宿泊等のご案内」をご参照下さい。

1 1 参加申込みについて

(1) 参加申込み方法等

以下 URL より専用 WEB ページにアクセスいただき、**6月9日（金）17:00**までにお申し込みください。詳細は、別添「参加・宿泊等のご案内」をご参照下さい。

【申込先】

大会専用登録申込 WEB ページ URL :

<http://www.mwt-mice.com/events/hoiku-tohoku2023>

名鉄観光サービス株式会社青森支店（担当：近藤、小野、相澤）

〒030-0802 青森市本町1丁目2-15 青森本町第一生命ビル 7階

TEL 017-776-5291 FAX 017-776-5232



- (2) 参加経費等の納入について
別添「参加・宿泊等のご案内」をご参照ください。
- (3) 参加券等の各種券の発行について
直接名鉄観光サービス株式会社青森支店より送付します。

1 2 問い合わせ先

青森県保育連合会事務局（我満、栃木）
青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ5階
TEL 017-734-2350 FAX 017-777-8698
Mail kenporen@jomon.ne.jp

※参加申込書に記載された個人情報は、本大会の運営及び資料の作成に使用いたします。
上記以外の目的で本人の了解なく個人情報を第三者に開示することはありません。